

平成21年度 福祉職場の労働環境及び満足度に関する調査報告書

1. 調査目的 本会福祉人材センター無料職業紹介所に求職登録し就職した職場の労働環境及び満足度の把握
2. 調査時期 平成21年4月～平成22年3月
3. 調査方法 調査票による郵送調査
4. 調査対象 本会福祉人材センター無料職業紹介所に求職登録をし就職後3ヵ月経過した方（以下、「3ヵ月後」）、及び1年経過した方（以下、「1年後」）

5. 回答数・回収率

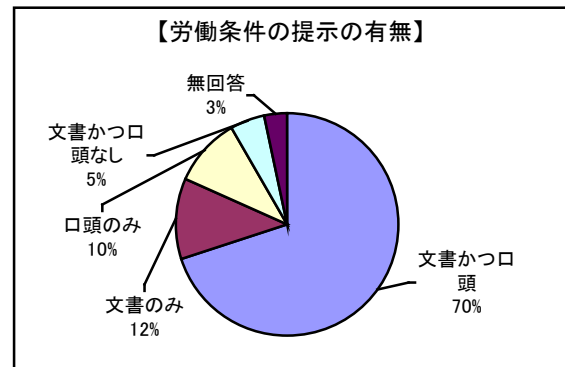
	対象者数	回答数	回収率
3ヵ月後	231	60	26.0
1年後	137	36	26.3

6. 調査結果の概要

(1) 労働条件の提示の有無

◎約20%が書面で提示されていない

労働基準法では明示しなければならない項目が定められており、労働契約の期間、就業の場所、従事する業務の内容、労働時間に関する事項、退職に関する事項については書面を交付することになっている。労働条件などでトラブルが発生しないように労働契約書を交わし、各職場の勤務実態について説明することが重要となる。

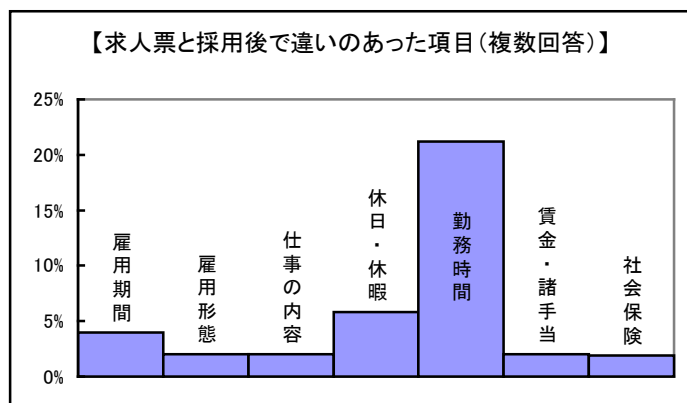


(2) 求人票の内容と採用後で違いのあった項目

◎相違点が最も多い項目は「勤務時間」

「勤務時間」については、21.2%が求人票と相違点があると回答した。ほかに「休日・休暇」「雇用期間」という理由が多かった。

求人票や面接時などに、就業時間や休日、時間外勤務の実態や有給休暇の取得実績、雇用期間の定めの有無等について、十分に説明しておく必要がある。

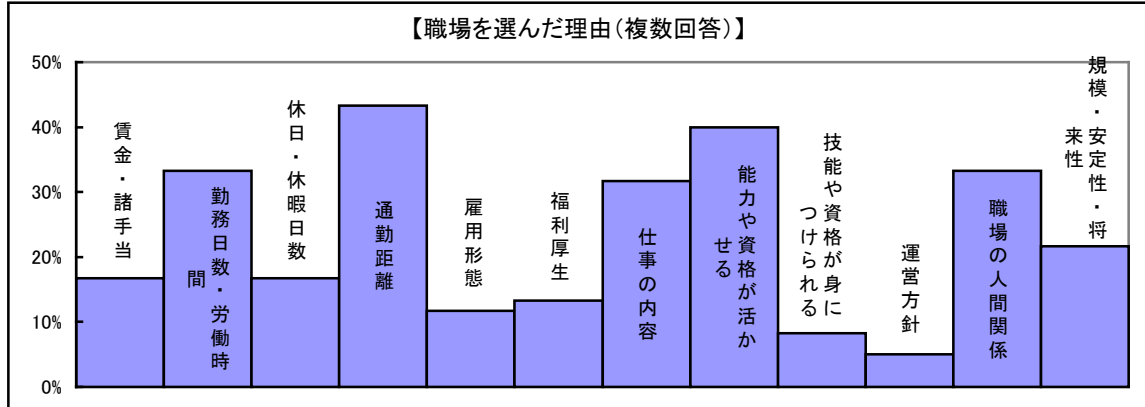


(3) 職場を選んだ理由

◎最も多いのは「通勤距離」

職場を選ぶ際に、43.3%が「通勤距離」を重視している。ほかに多いのは「能力や資格が活かせる」「勤務日数・労働時間」「職場の人間関係」となっている。専門性の高い仕事に対する意欲が高く、労働条件面では「賃金・諸手当」よりも、通勤の利便性や労働時間・日数を重視する割合が高くなっている。

また雇用形態別にみると、正規職員では「規模・安定性・将来性」、非正規職員・パートでは「通勤距離」を最も重視している。



(4) 職場に対する満足度

◎満足度の低い項目は「賃金・諸手当」「勤務に対する評価」

満足度の平均は、就職3ヵ月後、1年後それぞれ5点満点中3.4ポイント、3.1ポイントだった。3ヵ月後では「賃金・諸手当」と「勤務に対する評価」の満足度が低く、1年後では加えて「福利厚生」の満足度が低くなっている。

